

平成23年度第2回ひとり親・児童福祉推進市民研究会 会議概要

1 開催日時

平成23年11月26日（土） 13:30～15:20

2 開催場所

市役所分館大会議室

3 出席者

（委員）9人

深津委員、後藤委員、会澤委員、稲野辺委員、今泉委員、加賀美委員、柴沼委員、日高委員、山口委員

（担当職員）5人

子ども支援課：田中

保育課：矢野

子ども相談課：飯尾課長補佐

子ども相談課（こども発達センター）：竹中

健康づくり支援課：一場

（事務局）3人

社会福祉課：湯下次長、山澤、三浦

4 傍聴者 なし

5 議事（要旨）

（1）放射能対策について事務局より報告。

（2）第4次健康福祉総合計画主要事業の進捗状況について

担当課ごとに平成23年度上半期の事業進捗状況及び下半期の予定について報告。

<主な意見>

（委員）

「39 中高生の居場所づくり」について、前回の会議で「部活をしない子ども・学校に居場所のない子どもの受け皿のようなものがあれば」という提案があった。その後の進展はどうか。

(子ども支援課)

特にありません。

(委員)

「15-2 休日保育事業」のファミリーサポートの利用人数について、これは未就学児か、小学生か。

(保育課)

ファミリーサポートは小学生も対象の事業になりますが、「休日保育事業」は保育園に通っている児童対象の事業です。そのため、ここに記載されている利用人数は、未就学児の利用者数になります。

(委員)

「18 ファミリーサポートセンター事業の推進」について、利用数が少ないという理由で日曜をなくしているが、実際働いている人にとっては日曜に預けることのできる場所が必要。開所日の変更を月～土ではなく、日～火にはできなかったのか。

(委員)

月～土に変更したのは事務所の開所日であって、お預かりは各提供会員の家で日曜でも行っています。

(委員)

「19 保育園施設整備計画の推進」に記載されている「ぽけっとランドあびこ保育園」は、どこにあるのか。

(保育課)

我孫子駅北口近くに建設中です。私立保育園で来年4月の開園予定です。

(委員)

並木保育園がなくなると聞いているが、新しい保育園の開設はそれと関係するのか。

(保育課)

並木保育園に替わる保育園が同じ地区にあればという考えはありました。

(委員)

「22 公立保育園の地域子育て支援事業」の保育園の園庭解放について、利用数の少ない根戸保育園でも実施日の拡大をする理由は何か。

(保育課)

根戸保育園だから実施日を増やすのではなく「保育園にいつでも訪れてください」という姿勢を示したいとの考えから、全体を考慮して拡大を行いました。

た。実際、根戸保育園以外の園では利用者数が増加しており、今年度 10 月末時点で昨年度の利用者数を超えています。根戸保育園については、地区の地域性もあると思いますが、周辺の親子の受け入れ方法を課題として考えながら、園庭開放の環境づくりに努めていきます。

(委員)

根戸地区周辺の方々に対し、民生委員から園庭開放について周知してよろしいか。また保育園に行く前に何かしておくべきことはあるのか。

(保育課)

園児との触れ合いがありますので、事前に熱をはかっていたけるとありがたいです。参加者全員に対し利用カードを発行する等、次も参加したいと思っていただけるような工夫も考えていますので、周知の方ぜひお願いします。

(委員)

「18 ファミリーサポートセンター事業の推進」について、先日ニュースでファミリーサポートに預けていた子どもの事故の報道がされていた。事故にあった子どもが障害を負ってしまい、それに対する市の補償がはっきりしない、預ける側が不安に感じているという内容でしたが、我孫子市の場合保険等事故の補償はどうなっているのか。

(委員)

ファミリーサポートで保険に入っています。自動車を利用した場合の物損以外、活動中の事故についてはほぼ全て支払われます。また今まで大きな事故もありませんでした。

(委員)

報道はお子さんが障害を負ってしまったケースでした。そのようなことがないとは言い切れないため、我孫子市ではどうなっているのか伺いました。

(委員)

人間のやることに万全はないので絶対とは言えませんが、先ほどの説明どおりの保険には加入しています。

(委員)

「15-1 延長保育事業」の夜間保育について、夜7時以降の延長保育は子どもの側から見てゆとりが感じられる環境とは言えません。親のことを考えるとともに子どものことも考えることも大切なのでは。

(保育課)

就労体系は色々ありますので一概には言えませんが、朝から夜遅くまで働く方ばかりではなく、朝の延長時間のみを利用する方もいれば夕方の利用をする方もいます。延長保育は、幅広いニーズにできる限り対応できるようとの考えから事業を行っています。

(委員)

保育園に入園する際の面接等で、子どものことをしっかり聞き取ってから時間外制度を利用されることが、子どものためになるのではと思う。

(委員)

「23-1 子どもの虐待防止ネットワークの推進」について、現在我孫子市で深刻な虐待はあるのか。

(子ども相談課)

深刻の度合いをどこで測るかという差異はありますが、市で考える深刻なケースは数件あります。

(委員)

それに関して、主任児童委員や民生委員等各機関と連携して見守りなどは行っているのか。

(子ども相談課)

深刻なケースは児童相談所の管理になります。市で関わっている時点では、民生委員の方に見守りを依頼したケースもあります。

(委員)

民生委員として該当する家の見守りを外からしていると、ご近所の方からこちらが不審人物に見られることがあります。ぜひ早い段階でそのご家庭に紹介をしていただき、直接訪問できる関係にしていきたい。

(子ども相談課)

地区によっては、私たち以上に住民と民生委員の方とのつながりが濃いところもありますが、今のご意見は見守りを依頼している側の課題として考えていきたいと思います。

(委員)

民生委員と紹介されてから訪問すると、そのご家庭は逆に身構えてしまうこともあるのでは。分からないうちに調べるというのも一つの方法だと思います。

す。

(委員)

我孫子駅北口の地区はマンションが多く、自治会から新しい民生委員を出していただけない地区もあります。また民生委員がいたとしてもマンションは隣り同士のつながりが薄いこともあり、知り合いでないと訪問もできません。また泣き声があってもどの部屋からなのか分からないことがあります。そのような現状なので、市で何かいい方法を考えていただきたい。

(委員)

虐待の疑いがあると通報があったら、どの程度で市職員や民生委員の方が出て行かれるのか。

(子ども相談課)

通報を受けたら、まずはじめに市の職員が必ず確認に行きます。マンション等どの家か分からないときは、該当しそうな家（子どもがいる家）をすべて確認します。その後訪問の状況を見て民生委員の方に見守りをお願いすることもあります。

(委員)

虐待の疑いがあってもどこに話せばいいのかわからないという相談を受けたことがあります。そのような方も多いのでは。

(子ども相談課)

啓発に努めていきます。

(委員)

「11-1 障害児保育・統合保育」について、対象児童数が1名であるが、この事業は年長の学年の児童が対象なのか。

(子ども発達センター)

この事業は、子ども発達センターよりもっと大きい集団での療育がよいと判断された児童に対して提供するものです。基本的に保育は保育園で行い、週1回子ども発達センターに療育に来ていただきます。またセンター職員、保育園職員、そして保護者（親）でお子さんの療育計画を立て、育ちを見守っていきます。そのため多くの人数は難しく、支援可能な人数として2、3名で実施してきましたが、今年度は対象児童が1名であったため、その1名で実施しています。年長に限った事業ではなく、過去においては年中・年長と

2年間統合保育を実施した児童もいます。

(委員)

「116 新型インフルエンザ対策」について、今朝のニュースで豚インフルエンザという新しいインフルエンザが出たという報道がありました。これに対する予防接種対策はどうなるのか。

(健康づくり支援課)

まず新型であるかの判定や流行の程度予想等、新型ワクチンの作成までには長い時間がかかるため、現時点でどのような予防接種になるかはまだ不明です。今後新型かどうかの判定を含め、新しい情報が入ってきた場合、厚生労働省に確認しながら対策を考えていくことになると思います。

(委員)

「5-1 母子健康手帳の交付」について、妊娠に気づいた段階で母子健康手帳の交付申請を行うことになっていますが、全員が交付を受けているということでしょうか(交付漏れはないか)。また交付が遅れた方やそのお子さんに対する関わりはどのようにしているのか。

(健康づくり支援課)

我孫子市の出生数と上半期の手帳交付数から判断して、交付は概ねなされていると考えています。妊娠の届け出が遅くなった方、出産直前に手帳の交付となった方に関してはその後のフォローが必要であるとの判断から病院から連絡をもらうことがあります。その場合、退院後すぐ訪問できるよう、またその後も関わっていけるよう支援を行っています。乳幼児健診を受診されないお子さんに関しては、訪問や電話などで状況確認を行っています。虐待の疑いも視野に入れ、訪問しても不在で連絡が取れない場合、予防接種の履歴などを確認するようにしています。

(委員)

「39 中高生の居場所づくり」について、この事業は何を行っているものか。

(子ども支援課)

場所の開放を行っています。

(委員)

会議室等を利用しているのか。またイベント等何かメニューはあるのか。

(子ども支援課・委員)

ロビー等のフリースペースを利用しています。またホールを開放する日もあります。そこで遊んだり勉強したりといった、子どもたちが自由に使えるよう場所の提供を行う事業です。

(委員)

「24 子ども総合相談の推進」について、ネグレクトは虐待以外の相談件数に入るのか。

(子ども相談課)

ネグレクトは虐待の相談に入ります。身体、心理的、生理的、ネグレクトは虐待の相談になります。

6 その他

(事務局)

「我孫子市行政改革推進プラン」による審議会の見直しについての経過報告。現在、行政のスリム化・効率化を図るため、審議会の見直し方針を定め、全庁的に審議会等の設置数、委員定数等及び委員報酬の見直しを行っている。福祉市民研究会についても見直し方針に基づき、現在の3部会から1部会に統合をする(統合は、平成26年4月以降から実施)事務を進めている。

7 閉会

以上